

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

平成29年6月30日

枚方市長 殿



提出者

住 所 大阪市中央区島町2丁目1-5
ウィル・エンジニアリング・テクノロジー株式会社
氏 名 代表取締役 原 大耕

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6945-5100

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ウィル・エンジニアリング・テクノロジー(株) 枚方事業所
事業場の所在地	大阪府枚方市大字尊延寺955番地
計画期間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	74 技術サービス業
②事業の規模	30,000万円
③従業員数	15人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類→中間処理工場にて、破碎後、再資源化

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排 出 量	7,258.97 t	t
	(これまでに実施した取組) 作業工程の見直し (がれき類)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排 出 量	6,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 搬入前のがれき除去 (がれき類)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全 処 理 委 託 量	7,258.97 t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	7,258.97 t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への処理委託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再資源化原料として、再処理工場へ処理委託。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全 処 理 委 託 量	6,000.00 t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	6,000.00 t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への処理委託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 市指導指針に基づき、再生利用業者へ適正に処理委託する。		
※事務処理欄			

維持管理体制系統図

